

■特長

この時計は、時刻表示機能（時、分、秒）をバーグラフと数字を使って表示します。
また、以下の機能を備えています。

●カレンダー表示機能・・・月、日、曜日を表示できます。

※時刻表示で、ボタン③を押している間

●オートカレンダー機能・・・2月29日を除き月末のカレンダー修正の必要がありません。

●アラーム機能・・・設定した時刻に毎日鳴るアラームがセットできます。
サウンドデモンストレーションができます。

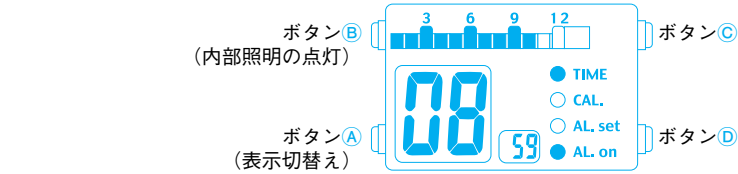
●内部照明機能・・・ボタン③を押すと内部照明(パナライト)が点灯します。
約3秒間の残照式です。

※サウンドデモンストレーション・・・アラーム音を試し聴きできる機能のことです。

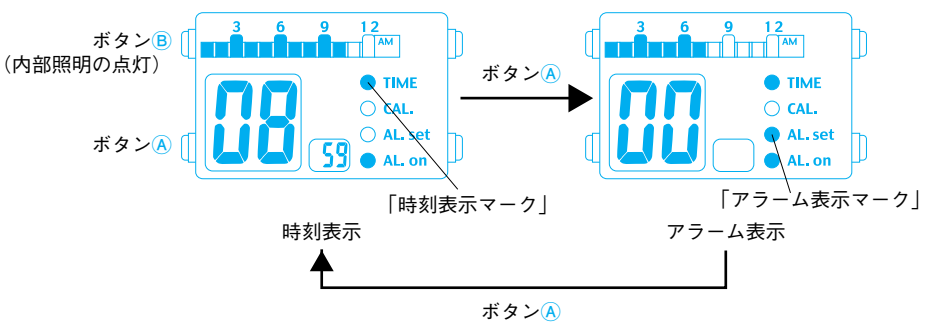
※パナライトに使用されているエレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。（詳しくは「■エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について」を参照）

※パナライト点灯時に音がありますが、これは駆動用の昇圧回路が出す音で異常ではありません。

■ボタンの名称と表示の切り替え



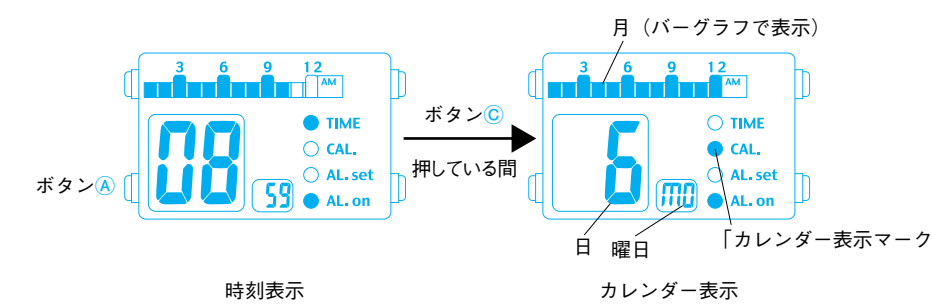
●ボタン④を押すごとに次の順序で切り替わります。



※上図はアラーム時刻を「AM 7:00」にセットしてある場合です。

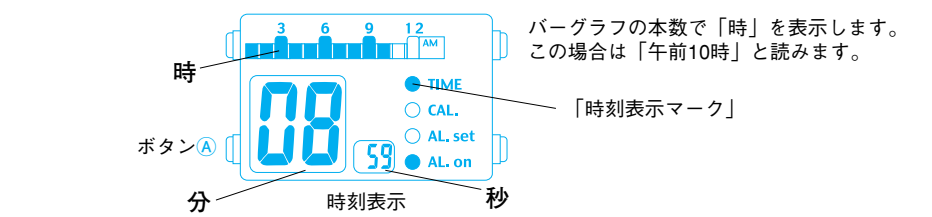
●ボタン③を押すと内部照明（EL）が点灯します。約3秒間の残照式です。

●「時刻表示」において、ボタン③を押している間、カレンダー「月、日、曜日」を表示します。

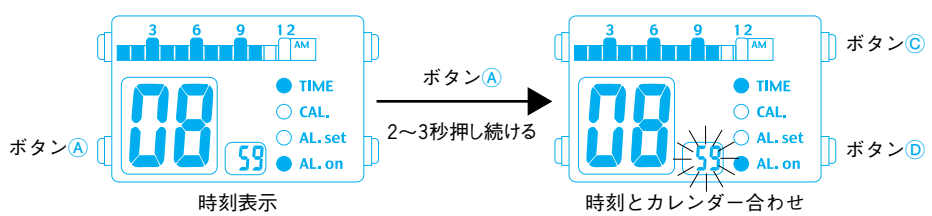


■時刻とカレンダーの合わせかた

①ボタン④を押して時刻表示にしてください。



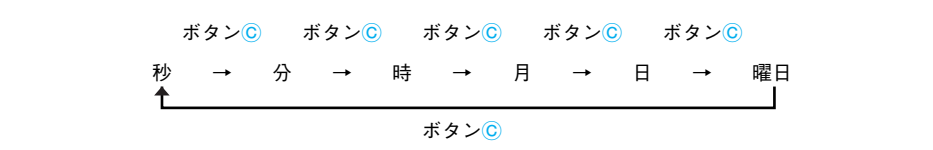
②ボタン④を2～3秒間押し続けて「時刻とカレンダー合わせ」状態にしてください。



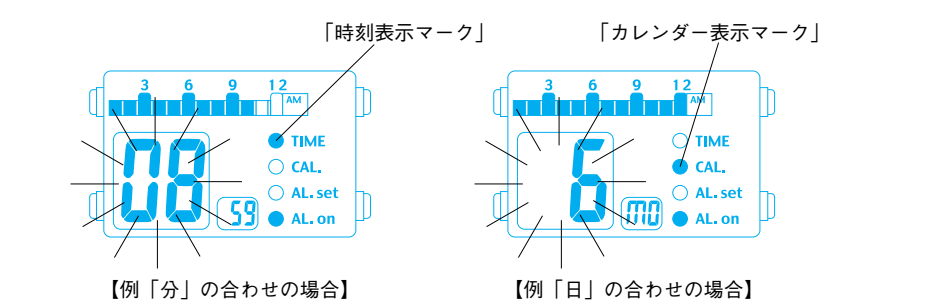
※この状態で1～2分間操作をしないと自動的に時刻表示に戻ります。

③ボタン④を押して、合わせたい箇所を点滅させます。

ボタン④を押すたびに点滅箇所が切り替わります。



※点滅箇所によって、表示が切り替わりますので、ご注意ください。



④ボタン④を押して合わせます。ボタン④を1回押すごとに点滅している箇所の数字（またはバーグラフ等）が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。

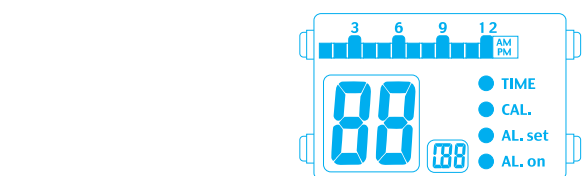
※「時」の合わせの際、午前（AMマーク点灯）または午後（PMマーク点灯）を確認して合わせてください。

⑤合わせ終わったら、ボタン④を押して時刻表示に戻してください。

●秒合わせ・・・（秒）を点滅させ、時報に合わせてボタン④を押すと、00秒に合います。
（秒）が30～59までのときは（分）が1分くり上がって00秒に合います。

<全点灯表示>

※時刻とカレンダー合わせで「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタン④とボタン④が同時に押された場合です。その場合は、ボタン④、④、④のいずれかを押して、「時刻表示」に戻してください。
次にあらためて、①から合わせ直してください。

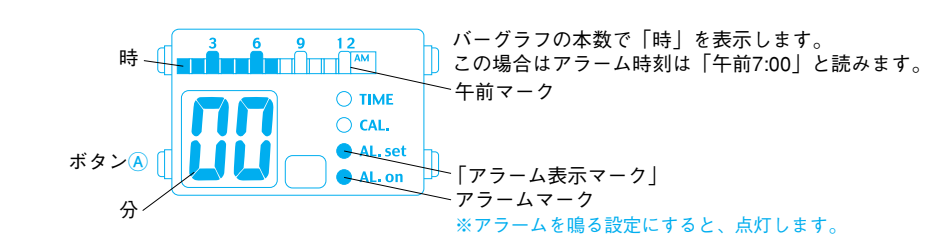


■アラームの使いかた（デیلیーアラーム）

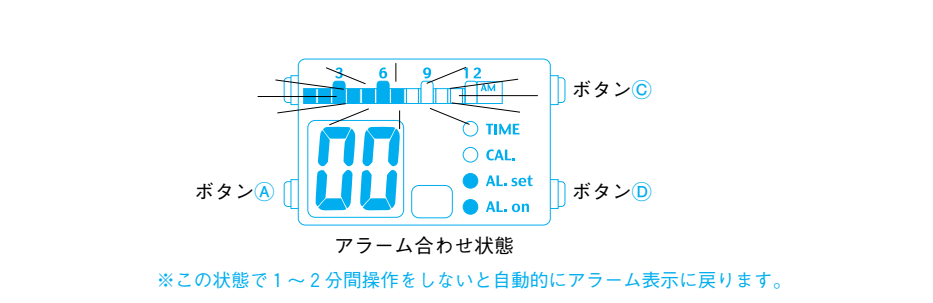
・1日（24時間）に1回鳴るデیلیーアラーム機能です。
・アラーム音の試聴（サウンドデモンストレーション）ができます。

●アラーム時刻の合わせかた

①ボタン④を押して、アラーム表示にしてください。



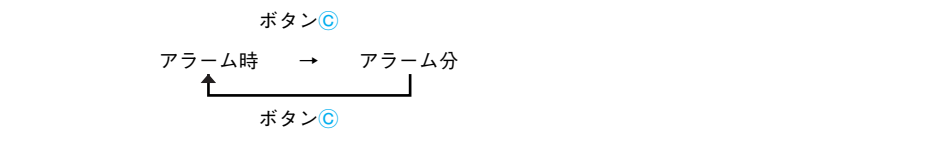
②ボタン④を2～3秒押し続けてアラーム時刻合わせにしてください。



※この状態で1～2分間操作をしないと自動的にアラーム表示に戻ります。

③ボタン④を押して、合わせたい箇所を点滅させます。

ボタン④を押すたびに点滅箇所が切り替わります。



④ボタン④を押してアラーム時刻を合わせます。ボタン④を1回押すごとに点滅している箇所の数字（またはバーグラフ等）が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。

※「時」の合わせの際、午前（AM）または午後（PM）を確認してください。

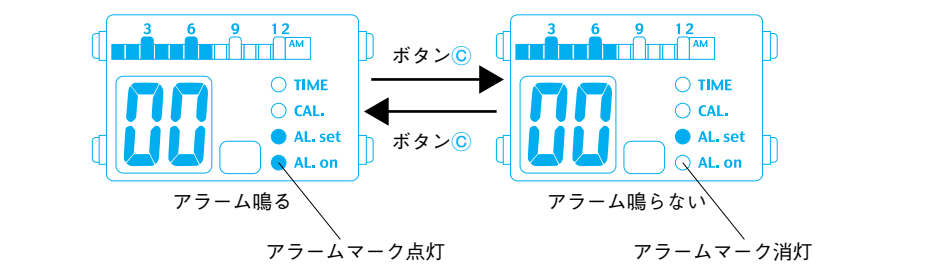
⑤合わせ終わったらボタン④を押してアラーム表示に戻してください。

※アラームマークが消灯の状態で、アラーム時刻を合わせた場合、自動的にアラームマークが点灯になります。

●アラームの鳴る／鳴らないの設定方法

アラーム表示でボタン④を押すごとに次の順序で設定が変わります。

アラームマークが点灯／消灯します。



●鳴っているデیلیーアラームを止めるには

アラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタン④、④、④のどれかを押してください。

※どの表示の時でも、この操作は可能です。

●サウンドデモンストレーション（アラーム音の試し聴き）

アラーム音を試し聴きたい時は、アラーム表示の時に、ボタン④を2～3秒間押してください。押し続けている間アラーム音が鳴ります。

※この操作をした後は、アラームの設定が変わりますので「●アラームの鳴る／鳴らないの設定方法」を参照して元の状態に戻してください。

■電池についてのお願いとご注意

（1）電池寿命

この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約3年間作動します。ただし、アラーム音を1日10秒以内、内部照明の点灯を1日1回を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。

（2）最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることが有りますのでご了承ください。

（3）電池交換

①電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー純正SB電池」とご指定の上、ご用命ください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。
④電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。

▲警告

1. お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2. やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
3. 万一口み込んだ場合は、体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

▲注意

1. 破裂、発熱、発火、などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2. この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3. 「常温（5℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがあります。また、液晶パネルのコントラストがなくなったり、パナライトの点灯時間が短くなることがあります。

■製品仕様

1. 水晶振動数・・・32,768Hz（Hz＝1秒間の振動数）
2. 精度・・・平均月差±30秒（気温5℃～35℃において腕につけた場合）
3. 作動温度範囲・・・5℃～+50℃　ただし表示機能は0℃～+50℃
4. 表示体・・・FE（電界効果）型ネマチック液晶
5. 使用電池・・・小型リチウム電池SB-T14：1個
6. 電池寿命・・・約3年
7. 内部照明・・・EL（エレクトロルミネッセンス）
8. 電子回路・・・発振、分周、駆動、EL回路（C－MOS－LSI）：1個

※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

■液晶パネルについて

この時計の（液晶パネル）は、5年をすぎますとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。有料にて申し受けます。

■エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について

内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
※ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約120時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。
電池を交換しても暗くなる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。有料にて申し受けます。

■使用上のご注意とお手入れの方法

▲注意

時計の防水表示 上段：文字板 下段：裏ぶた	使用例 防水の基準	雨や泥など日常生活で予想される「水がかる」程度	水に短時間浸かる程度。洗濯などやスポーツ（泳水やボート）で使用できる程度	空気圧計を使用しない潜水（スキューバ潜水）で使用できる程度	空気圧計も使用する潜水（スキューバ潜水）に使用できる	ヘリウムガスを使用する潜水方式（飽和潜水）に使用できる
表示なし 表示なし	非防水	×	×	×	×	×
表示なし 表示なし	日常生活用防水（3気圧防水）	○	×	×	×	×
表示なし 表示なし	日常生活用強化防水（5気圧防水）	○	○	×	×	×
表示なし 表示なし	日常生活用強化防水（10気圧防水）	○	○	○	×	×
表示なし 表示なし	日常生活用強化防水（20気圧防水）	○	○	○	×	×

▲警告

・日常生活用防水（3気圧）の時計は水の中にいれてしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水（5気圧）の時計は、スキューバダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
・日常生活用強化防水（10・20気圧）の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

▲注意

●日常のお手入れ
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてください。
・時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取ってください。汚れや、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

（革バンド）
・革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするようにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

（金属バンド）
・金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗などのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合は時計本体に水がかからないようにご注意ください。

（軟質プラスチックバンド）
・ウレタンバンドや軟質プラスチックでできています。特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときは石鹸水で洗ってください。化学製品ですので溶剤によって変質することがあります。通常数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。
●非防水時計は、水（水道の水はぬ、雨、雪など）や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸収性のよい布などで水分をふき取ってください。
●日常生活用強化防水時計は、海水中などでの使用のあと、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。
●回転ベゼル付きの時計の場合、ベゼルの下に汚れなどがたまり、回転が重くなる場合がありますので清潔にしてください。

▲注意

かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは、
1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌になどに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

●その他、携帯上ご注意くださいこと

・バンドの着脱の際に中留めなどで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますので、ご注意ください。
・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので、十分にご注意ください。

▲注意

・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって大切な衣類や手・首などを傷つける事がありますので、ご注意ください。

●保管について

・「－5℃～＋50℃からはずれた温度」下で長時間放置すると、機能が低下したり、停止する場合があります。
※この時計は、気温5℃～35℃において腕につけた時に安定した精度で稼働しますが、常温にもどれ元精度にもどります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの＝ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など＝水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

●定期点検について
・なにごとご愛用いただくために、2～3年に1度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。
点検の結果によっては調整・修理を必要とする場合があります。

●部品（電池）交換の時は、「セイコー純正部品（電池）」とご指定ください。
・定期点検の際にはパッキンやパネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■アフターサービスについて

・万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。
保証期間内の場合は保証書を添えてください。
・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店にうけたまわっております。なお、ご不明の点は「セイコー株式会社お客様相談室」「セイコーサービスセンターお客様相談係」にお問い合わせください。
・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よく読みいただき大切に保管してください。

■補修用性能部品について

・この時計における補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。正常なご使用であればこの期間中は原則として修理可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
・修理可能な期間はご使用条件によりちるしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。
・修理の内容によっては、修理代が標準小売価格を上まわる場合があります。その他、わからない点がありましたら、「セイコー株式会社お客様相談室」または「セイコーサービスセンターお客様相談係」へお問い合わせください。